

東京都立大田桜台高等学校 管理運営規程

第1 目的

この規定は、法令及び東京都教育委員会規則等の定めるところに従い、東京都立大田桜台高等学校（以下本校という。）の管理運営に関し、必要な基本的事項を定め、円滑かつ効果的な学校運営を推進すること並びに学校教育の充実を図ることを目的とする。

第2 事案決定

本校における事案決定は、東京都立学校事案決定規程等に基づき、原則として文書により行う。

第3 校長

校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

第4 副校長

- 1 副校長は、校長を助け、命を受けて校務をつかさどり、及び校務を整理する。
- 2 副校長は、校長の命を受け所属職員（経営企画室の所属職員を除く）を監督し、及び必要に応じ生徒の教育をつかさどる。

第5 主幹教諭

- 1 主幹教諭は、校長及び副校長を助け、命を受けて校務の一部を整理し、並びに生徒の教育をつかさどる。
- 2 主幹教諭は、担当する校務について、所属職員（経営企画室の所属職員を除く）を監督する。

第6 主任教諭及び主任養護教諭

主任教諭又は主任養護教諭は、特に高度の知識又は経験を必要とする教諭又は養護教諭の職として、以下の役割を担う。

- 1 校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割
- 2 指導・監督層である主幹教諭の補佐
- 3 同僚や若手教員への助言・支援などの指導的役割

第7 経営企画室長

経営企画室長は、校長の命を受け、経営企画室の事務を統括処理する。

第8 校務分掌組織

校務に関する分掌組織は、次のとおりとする。ただし、特別な事情のあるときはその一部を置かないことができる。

- 1 部
教務部、生活厚生部、進路指導部、総務部を置く。
- 2 学年
第1学年、第2学年及び第3学年を置く。
- 3 学科
ビジネスコミュニケーション科を置く。
- 4 教科
(1) 国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭及びビジネスの教科を置く。
(2) 国語、地理歴史、公民（地歴と公民で1名）、保健体育、外国語及びビジネスに教科

主任を置く。

5 企画調整会議

6 職員連絡会

7 教科会 教科主任を置く教科に教科会を置く。

8 委員会

①教育課程検討委員会、②教科書選定委員会、③都立学校開放事業委員会、④安全衛生委員会、⑤学校保健委員会食育推進委員会及び食物アレルギー対応委員会、⑥業者選定委員会、⑦学校いじめ対策委員会兼特別支援教育研究委員会、⑧防災教育推進委員会及び⑨学校危機管理委員会を置く。委員会に関する事項は別に定める。

9 学校運営連絡協議会

「都立大田桜台高等学校学校運営連絡協議会」を設置する。

10 部活動の指導

教育活動の一環として部活動を設置し、適切に運営する。部活動に関する事項については生活厚生部の所掌とし、部活動の指導は、当該部活動の指導を分掌する職員及び指導を委嘱された者が行う。

11 情報セキュリティ及び個人情報保護

情報セキュリティ及び個人情報保護に関する事項については、教務部の所掌とする。

12 その他

校長が必要と認めたときは、その他の分掌組織を置くことができる。

第9 経営企画室組織

経営企画室の事務は、経営、庶務、経理及び施設その他の事務とする。

第10 企画調整会議

1 目的

企画調整会議は、校長の補助機関として、校長の学校運営方針に基づき、学校全体の業務に関する企画立案及び連絡調整、各分掌組織間の連絡調整、職員会議における議題の整理、その他校長が必要と認める事項を取扱い、円滑かつ効果的な学校運営を推進する。

2 構成員

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭、各部主任、各学年主任、学科主任、保健主任とする。但し、校長は、議案の内容によっては各教科主任・各委員会等代表者の参加を認めることがある。

3 開催

定例会は、原則として毎週1回開催する。臨時会は必要に応じて開催する。

4 招集

校長が招集し、その運営を管理する。なお、議長は副校長とする。

5 その他

(1) 構成員は、企画調整会議に関して、文書をもって事案を提出する。

(2) 校長が必要と認めたときは、学校運営連絡協議会の協議委員を参加させることができる。

(3) その他必要な事項は校長が定める。

第11 職員連絡会

1 目的

職員連絡会は、校長の補助機関として、次に掲げる事項のうち、校長が必要と認めるものを取り扱う。

- (1) 校長が学校の管理運営に関する方針等を周知すること。
- (2) 校長が校務に関する決定等を行うに当たって、所属職員等の意見を聞くこと。
- (3) 校長が所属職員等相互の連絡を図ること。

2 構成員

常勤の教職員とする。但し、校長が認めた場合は他の職員も参加できる。

3 開催

定例会は、原則として月1回開催する。校務運営上、必要に応じて臨時的に開催することがある。

4 招集

校長が招集し、その運営を管理する。

5 司会

校長が選任する。

6 記録

校長が記録者を選任する。記録者は、会議の要旨を会議録として取りまとめ、会議終了後、直ちに会議録を校長に提出し、会議の要旨が正確に記載されているかの確認を受けなければならない。

7 運営

- (1) 報告、意見聴取及び連絡に関する事項は、企画調整会議を経た上で、事前に資料を添付し副校長に提出する。
- (2) 校長の意思決定に資するため、職員連絡会において、必要に応じて構成員の意向を聞くことはあるが、校長の意思決定を拘束するものではない。

第12 教科会

1 目的

教科主任が中心となって、各教科における指導の目標、方針の共有及び授業進度の調整並びに教科指導に関する人材育成を円滑に進める体制を確保するため、校務分掌組織の一つとして教科会を設置する。

2 所掌事項

- (1) 教科別の具体的な学習目標の策定及び検証に関すること。
- (2) 「年間授業計画」に関すること。
- (3) 各教員が作成する「週ごとの指導計画」の点検に関すること。
- (4) 授業の進度や指導内容の確認に関すること。
- (5) 定期考査及び学習評価に関すること。
- (6) 教科書選定に関すること。
- (7) 教務部との連絡・調整に関すること。
- (8) 組織的な教科指導において、校長が特に必要と認めること。
- (9) 教科指導力の向上に必要なOJTに関すること。

3 構成員

同一教科の全ての常勤の教員とする。

4 開催

定例的な教科会を、月1回開催する。

年間計画に基づく教科会を、年間授業計画策定時（年1回）、定期考査前（年5回）、成績評定前（年3回）、OJT関係実施時期（年3回）に開催し、各学期開始前までに開催日を決める。

その他、必要に応じて臨時の教科会を開催する。

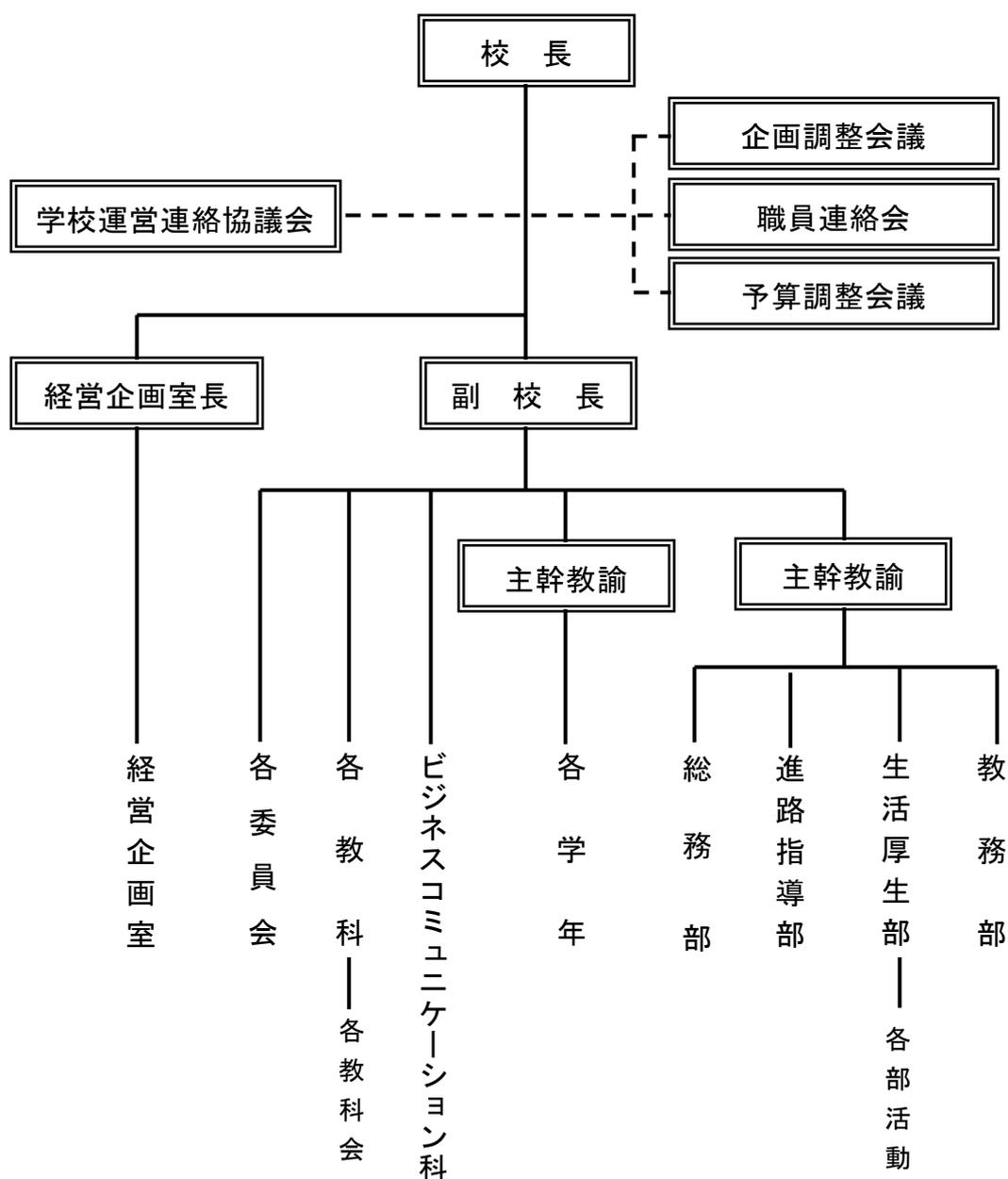
5 招集

教科会は、教科主任が招集する。

教科主任は、校長、副校長に、教科会の開催状況を報告する。

第13 分掌組織

分掌組織図は、次の通りとする。



第14 人事

分掌組織を構成する人事は、東京都教育委員会の権限に属するもののほかは、校長が定める。

第15 予算

校内予算の編成等については、「東京都立学校の予算編成等に係る規程」に基づき、適正かつ効率的な運営を図る。

第16 緊急時の対応等

- 1 校長及び副校長が不在の場合で、緊急に対応しなければならない事案が発生した場合には、主幹教諭は所属職員全体を統括する。主幹教諭が複数いる場合の順位は校長があらかじめ定める。
- 2 災害その他の緊急事態が発生した場合の対応に関する事項は、この規定に定めるものの他、別に定める。
- 3 校長は、校務運営上必要なその他の校内規定を定める。

第17 情報開示

この規程及びその他の校内規定については、保護者及び都民等に閲覧に供することができるよう整備する。

附則

この規程は平成21年4月1日から施行する。

この規程は平成22年4月1日から施行する。

この規程は平成23年4月1日から施行する。

この規程は平成24年4月1日から施行する。

この規程は平成25年4月1日から施行する。

この規程は平成26年4月1日から施行する。

この規程は平成31年4月1日から施行する。

この規程は令和2年4月1日から施行する。

この規程は令和4年4月1日から施行する。(04大桜台高第146号)